
第 24 報 平成 30 年 12 月 19 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

平成 28 年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格及び供給情報について、平成 30 年 12 月 17 日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

【生コンクリート】

（熊本地区）

熊本地区の11月の出荷量は7万7,233m³と前年同月比20%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。交通センターの跡地再開発工事や熊本市市民病院の移転工事等の大型民間工事や震災復興に伴う道路・護岸工事等の大型物件を抱えており、需要は堅調。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万5,500円どころを横ばいで推移している。熊本地区生コン協組では、原材料費の上昇・運搬コストの高騰を背景として、昨年度来の値上げ打ち出し額1,000円の満額確保を目指し売り腰を強め、需要家側と交渉を継続している。目先、横ばい推移の見通し。

（阿蘇地区）

阿蘇地区の11月の出荷量は3万5,173m³と前年同月比34%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。震災復興関連工事向け等の大型物件向けへの出荷が当面は続く見込みで、今後も、需要は堅調に推移する見通し。それに伴いアジテーター車が不足していることから、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、震災復興関連需要による出荷量の増加に対応するため、他地区からのアジテーター車のチャーターを増やすなど安定供給に努めている。先行き、横ばいで推移する見通し。

【コンクリート用砕石】

（熊本地区・阿蘇地区）

震災復興関連工事、交通センターの跡地再開発工事等で生コン出荷は増加しており、原材料の骨材需要も旺盛なものとなっている。供給側は増加する需要に対応するため設備更新を行う等、安定供給体制の維持に努めているが、各社ともフル生産の状況が続いており、需給はややひっ迫している。

価格は20～5mmが熊本地区でm³当たり3,400円。阿蘇地区でm³当たり3,900円どころ。熊本地区砕石共販協同組合では、強固な共販体制を背景に、現行価格維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。

【アスファルト混合物】

（熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の10月の製造数量は8万492tと前年同月比約2%の減少（日本アスファルト合材協会調べ）。熊本市内の需要は中心部においては減少傾向にあるが、益城、御船、阿蘇地区の需要は震災復興道路工事を中心に堅調である。

価格は再生密粒度(13)が熊本地区でt当たり11,000円どころ、阿蘇地区でt当たり12,200円どころを横ばいで推移している。主原材料であるスト・アス価格が上昇しており、供給側はコストアップ分を製品価格に転嫁したい意向を示している。ただ、中心部の需要は盛り上がりを欠いており、需要者側の購買姿勢は依然厳しく、現行価格の維持が精いっぱい状況。先行き、熊本地区、阿蘇地区とも横ばいで推移する見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【平成30年12月17日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
								需給	価格見通し
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [132]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [193]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砕石 20～5mm [193]	熊本	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,400	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	300円上伸	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
再生 クラッシュラン 40～0mm [193]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,200	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [324]	熊本	2018年 5月号	200円下落	t	11,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【平成30年12月17日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [24]	熊本	価格はSD295A・D16でt当たり7万2,000円どころと前月比横ばい。復興工事や民需により、需要は堅調に推移している。一方、主原材料である鉄屑価格が下落したことから、販売側の売り腰はやや軟化している。今後の鉄屑相場の動向が注視される中、需要者側は当用買いの構えをみせており、目先、横ばい。	均衡	均衡	横ばい
型枠材 コンクリート型枠用合板 [217]	熊本	価格は、無塗装品ラワン、12×900×1800mmで枚当たり1,390円と前月比30円の上伸。産地側の原木不足による製品の高値感は続いていることから、流通筋も仕入れコスト上昇分を転嫁するべく売り腰は強い。需要面では、熊本市中心部の大規模再開発や民間建築工事への出荷は堅調であるが、年末は荷動きは一服する見通しから目先、価格は横ばいで推移。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
仮設鋼材賃貸料金 鋼矢板・H形鋼 鋼製山留材 鋼製覆工板・敷鉄板 [284～290]	熊本	仮設鋼材の稼働率は例年より高い水準で推移。需要期を迎え、需給はタイトな状況が続いている。母材となる鋼材価格が上伸する中、賃貸業者は値上げの意向を示しているが、需要者の指値が厳しく、現在のところ値上げ浸透には至っていない。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい

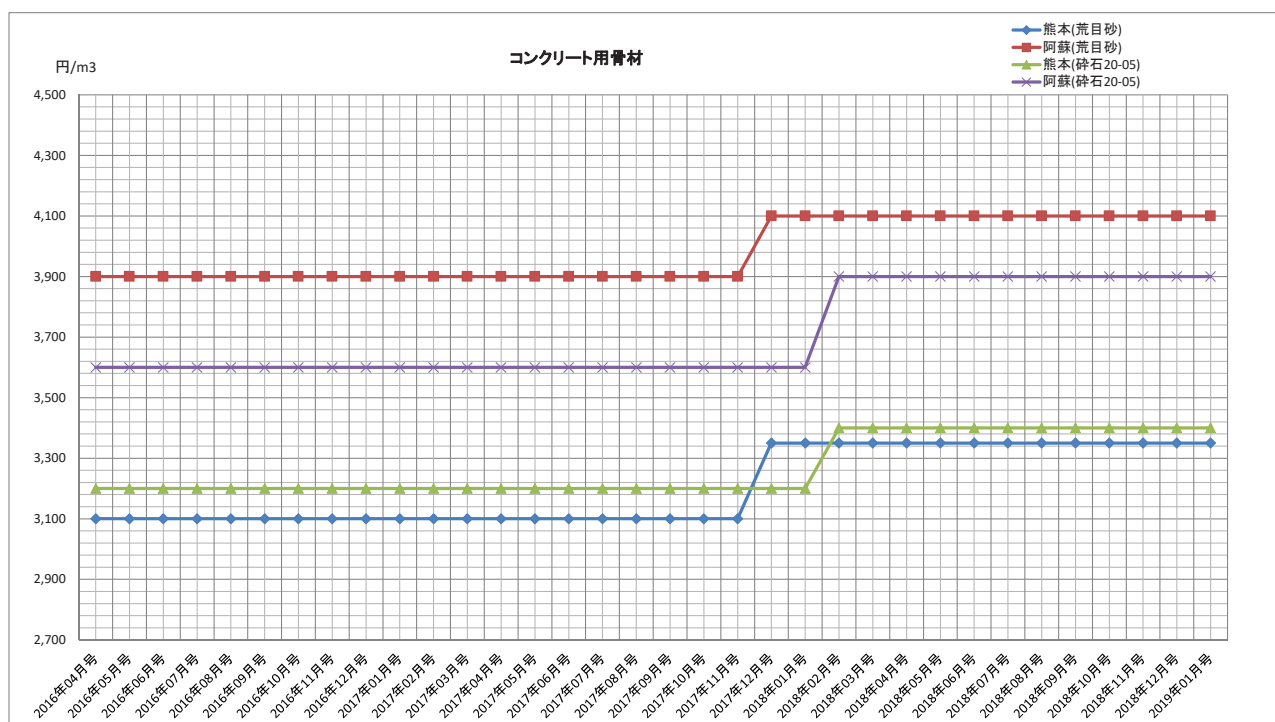
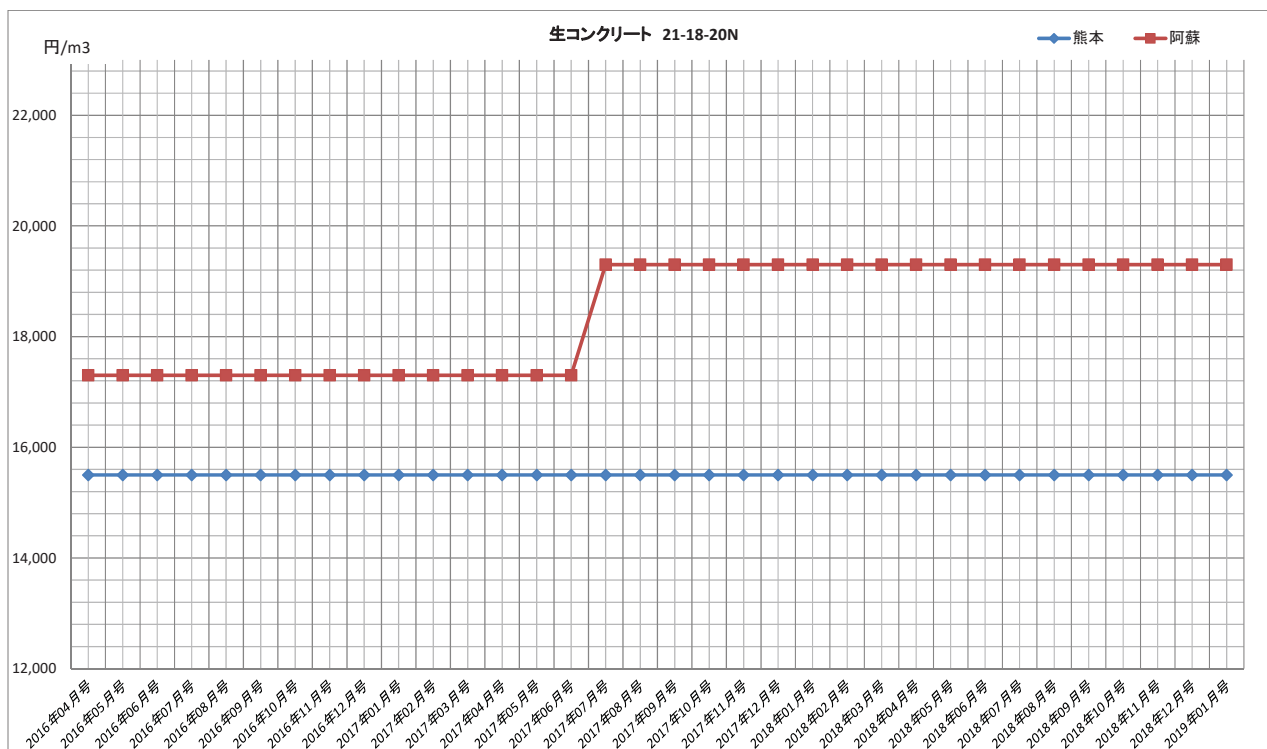
【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

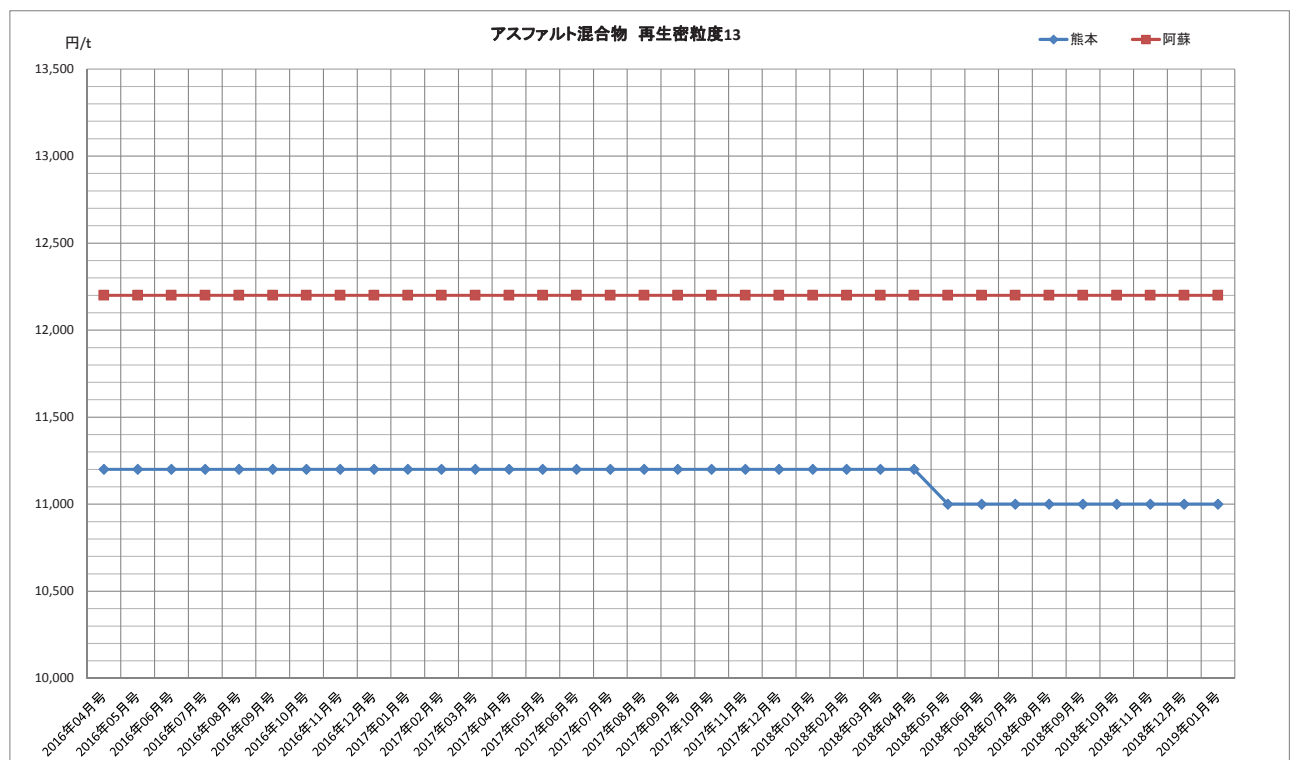
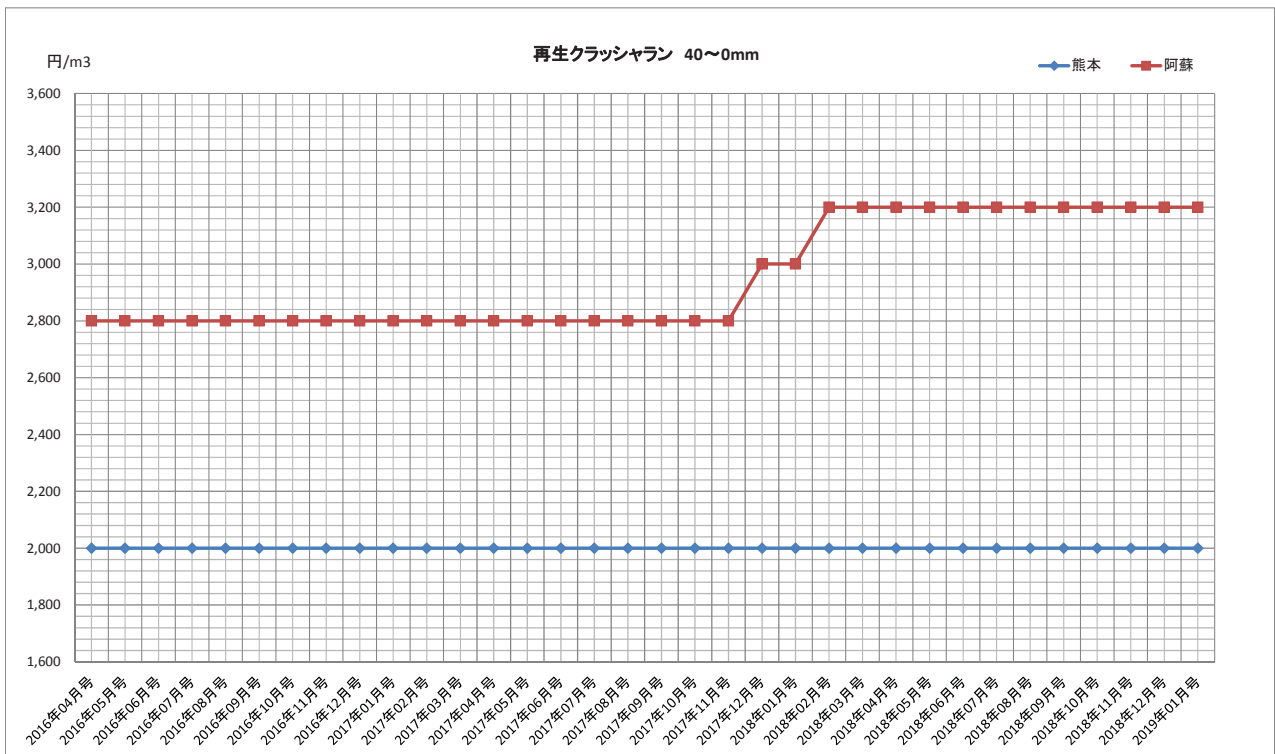
【平成30年12月17日 現在】

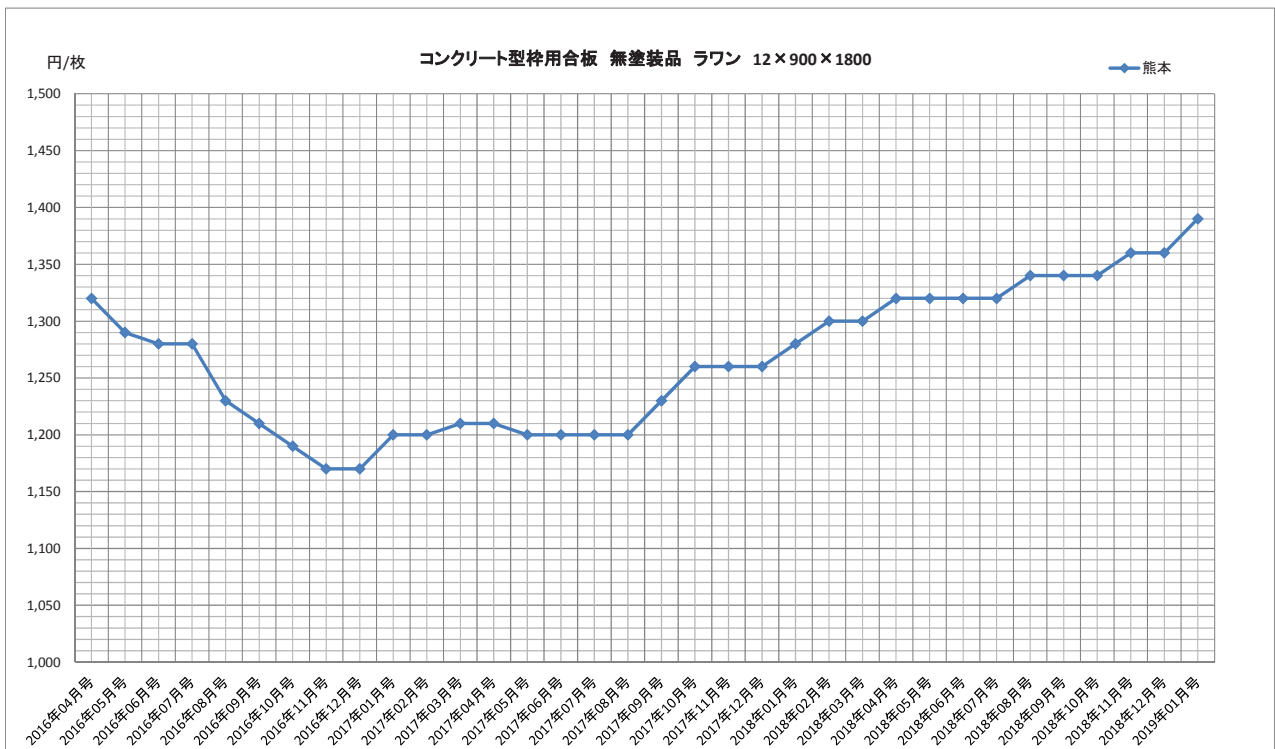
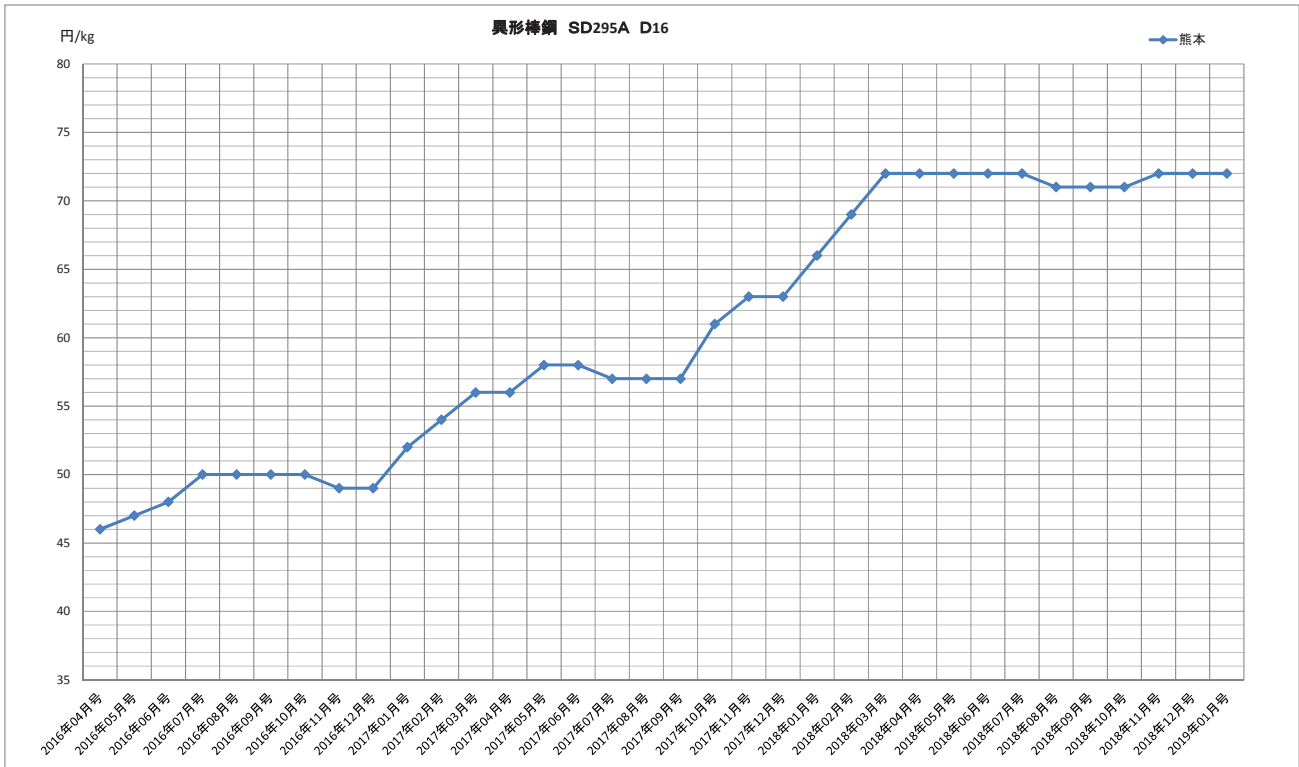
資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
土木工事市場単価 鉄筋工(手間のみ) [土木施工単価3~9]	熊本	価格は一般構造物でt当たり59,000円どころと横ばい。阿蘇へのアクセスルートの復旧が着実に進むなど、災害復旧関連工事を中心に工事需要は堅調に推移している。そうした中、専門工事業者側は稼働率の高さが続いている状況を背景に値上げを要請しているが、総合建設業者側の抵抗は強く、依然として市場の浸透までには至っていない。専門工事業者側は引き続き値上げ交渉を行い、先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	ひっ迫	強含み
建築工事市場単価 鉄筋工事(手間のみ) 建築施工単価 [市場単価10~13]	熊本	価格は、RCラーメン構造・階高3.5~4.0m程度・形状単純でt当たり56,000円どころと前回調査比1,000円の上伸。市内の工事需要は、大規模再開発工事や市民病院の再建工事などを中心に堅調。高稼働率を背景に専門工事業者の契約単価引き上げに向けた交渉も漸く奏功した状況。今後も慢性的な労務不足は続く模様で、労務需給は引き続きひっ迫するとの見方が強く、先行き強含みの展開。	ひっ迫	ひっ迫	強含み
建築工事市場単価 型枠工事(材工共) 建築施工単価 [市場単価20~23]	熊本	市街地中心部の大規模再開発工事が最盛期を迎え、市内商業施設向け等の建替需要も堅調。型枠工事の労務需給は依然としてタイト感が強く、価格は、普通合板型枠・ラーメン構造・地上部階高3.5~4.0mでm2当たり5,000円どころと前回調査比100円の上伸。型枠工事業者の手持ち工事は依然として多く、市況は強含みで推移する公算が大きい。	ひっ迫	ひっ迫	強含み

【特記】 需給動向は専門工事業者及び総合工事業者に確認し、直近3か月前と比較した結果である。

【主要資材の価格推移】







【工事市場単価の価格推移】

